



いし い まこと
石井 誠

職 名 専任講師

担当科目 日本語応用, 日本語基礎, 基礎ゼミ,
異文化理解

研究テーマ 日本語文法, 日中対照文法研究, 児童生徒のための日本語学習教材開発, 中国語を母語とする日本語学習者のための教材開発

研究業績

著 書	1996年2月	『にほんご だいすき 1 おしえかたガイド』(共著, むぎ書房)
	1998年3月	『にほんご だいすき 2 テキスト』(共著, むぎ書房)
	1998年3月	『にほんご だいすき 2 ワークブック』(共著, むぎ書房)
	2000年7月	『にほんご だいすき 2 おしえかたガイド』(共著, むぎ書房)
	2001年7月	『漢語話者のためのわかりやすい日本語シリーズ3 類義表現の使い分け』(共著, 国際文化フォーラム)
	2009年3月 2009年3月	『にほんご だいすき 3 テキスト』(共著, むぎ書房) 『にほんご だいすき 3 ワークブック』(共著, むぎ書房)
論 文	1998年1月	日中対照指示詞の研究 (『国文学解釈と鑑賞』至文堂)
	2011年6月	留学生に対する日本語スピーチ指導の一つの試み (『宇都宮大学 留学生教育研究論集』第2号)
	2012年3月	漢字圏日本語学習者に対する漢字の筆順指導に対する考察 (『宇都宮共和大学論叢』第13号)
	2016年3月	ベルギーの言語事情-二つの家族から見た現状- (『宇都宮共和大学論叢』第17号)
調査報告	2010年3月	中国の高等教育制度-継続教育学院の位置づけ- (『宇都宮共和大学論叢』第11号)
	2016年10月	ベルギーのカーシェアリング事情 (『宇都宮共和大学 都市経済研究年報』第16号)
学会発表	2013年5月	“Second Language Writing: Identity Construction and Reflection on Indigenous Ways of Knowing” Congress of Qualitative Inquiry, University of Illinois at Urbana-Champaign

社会的活動	2010年1月	日光市国際交流協会市民講座講師
	2011年1月~2月	〃
	2012年2月	〃

略 歴	1990年12月	青年海外協力隊日本語教師 (中国陝西省西安市西北政法学院)
	~1992年12月	大学院生, 教職員を対象にした日本語集中講座の企画運営
	1994年4月	横浜国立大学教育学研究科国語教育専攻日本語教育研究専修入学
	1997年3月	横浜国立大学教育学研究科国語教育専攻日本語教育研究専修卒業 (「教育学」修士取得)
	1997年4月	東京外国語大学留学生日本語教育センター教務員補佐
	~1999年3月	外国人子女の日本語指導に関する調査研究
	1999年9月	那須大学学生課職員
	2002年4月	那須大学兼任講師
	2003年4月	那須大学専任講師
	2006年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部専任講師 (大学名称等変更) (~現在に至る)
	2015年6月	ベルギーゲント大学文学部日本語教師
		~2016年3月

所属学会 日本語教育学会, JAFSA (国際教育交流協議会)

自己アピール 専門は外国語教育としての日本語教育です。小中学校に在籍する日本語指導の必要な外国人児童生徒についての調査研究, 教材作成, それから中国語を母語とする成人学習者向けの教材開発などもおこなっています。外国暮らしの経験もあるため, 文化間相互理解や地域社会での国際交流にも興味があります。